

令和2年度 第4回タウンミーティング

能美市壮年団とのタウンミーティング

日 時 令和2年12月5日（土）17時30分～18時30分

場 所 辰口福祉会館 交流ホール

参加人数 57人

1) 市長 市勢報告

◎ふるさと能美再発見

・のみふるさとミュージアムのオープン

今年10月17日、のみふるさとミュージアムがオープンした。オープン式典を執り行い、その後、市内の各小中学校から小学校6年生、中学校3年生の代表の児童生徒達に来てもらい記念植樹をし、タイムカプセルを埋めた。今年の小学校、中学校の卒業生は、修学旅行が日帰りになり、運動会やいろんな行事が縮小になった。約2か月間臨時休校にもなったということで思い出が少なく、本来ならば卒業アルバムにたくさんの思い出の写りが載るはずだったが叶わなかったため、全員に今の気持ちを書いてタイムカプセルに入れてもらった。これを2035年能美市制誕生30周年の時に開けようと企画した。思い出の1ページになることを願っている。

この日に、市内3か所で一斉に花火を打ち上げた。今年は7月の根上り七夕まつり、8月の辰口まつりが中止になった。多くの市民の方々から花火をあげてほしいと要望があったため、新型コロナウイルスで疲弊しているこの時に、やっというのか、いろんなことを考えたが、能美市制15周年を祝い、新型コロナウイルスで頑張っている医療従事者などに感謝と敬意のメッセージを送りたい、市民の皆様の気持ちにこたえたいという思いで花火を打ち上げた。

今日は、ふるさと能美再発見というテーマで話をする。

「美しき能き（よき）国」という意味が込められ「能美」が誕生したのが紀元823年。2001年に遺跡の調査で土器のかけらが発見された。当時の能美という文字が記された大変貴重な資料である。このような資料が展示されているのが「のみふるさとミュージアム」。和田山古墳とマッチするように木材を多用した外観になっている。そしてコンセプトは、「何度でも訪れたいような手作りの博物館」。4シーズンごとに、展示内容を変えていこうと考えている。旧石器時代から近代までの歴史、そして能美の美しい自然、5つのテーマ展示、こどもミュージアム「のみつけ」や特別展示室で新しい技術を駆使して展示を行っている。

・能美市の現状

県内には19の市、町があり、能美市は人口7番目、人口密度4番目、面積は14番目、市の予算225億円は6番目。人口は増え続けていたが、ここ4、5か月は減りだしている。人口変動は自然増と社会増があり、亡くなる人よりも生まれてくる人が多いと自然増となり、能美市から引っ越す人よりも他の市町から能美市に引っ越してきてくれる人が多いと社会増になる。ご存じのとおり、日本中どこでも自然減となっている。東京の人口が増えているのは赤ちゃんが生まれているのではなく、地方の人が東京に引っ越してくるから増えている。実は能美市も社会増で人口が増えていたが、最近コロナの影響で社会減となっている。能美市は石川県の中で、人口比率で外国人が住んでいる割合が一番多い。

能美市は、全国住みよさランキングで、ずっとTOP20入りしている。去年は白山市が1位、今年も野々市市が1位。全国で対象となる市町村は約830近くあるなかで、石川県の自治体が5つも入っている。

能美市の予算は、5つの柱と2つの方針のもとに編成し、すべての施策を移住定住の促進につなげ、人口を増やしていこうと取り組んでいる。

・能美市の観光資源

市内の観光地として、能美古墳群、九谷陶芸村、辰口温泉、手取フィッシュランド、いしかわ動物園、松井ベースボールミュージアムなどがある。また、「栄冠は君に輝く」という夏の全国高等学校野球選手権大会の歌があるが、作詞した加賀大介さんは能美市出身。作曲は古関裕而さん。この歌詞を記した石碑が根上野球場の傍にある。また、のみバスの観光ルートを作った。

市内には素晴らしい自然景観がたくさんある。春には旧能美電線路跡の道の桜並木が綺麗である。ここに、東京オリンピック50km競歩の代表選手に内定している鈴木雄介選手が練習に来ていた。このコースをもっと練習しやすいように少し改良し、ブルーミングロードと名付けた。仏大寺町には有名な地下水が湧き出ているところがある。根上学習センターの2階にはプラネタリウムがある。

のみふるさとミュージアムに、2018年にヘリコプターで上空から撮影した写真を1/3000の大きさのマップにして展示してある。のみふるさとミュージアムの役割として、1つは能美市の歴史を紹介する、もう1つは能美市のいろんな観光地や自然景観へ見学に行ってもらう玄関口としていること。マップには、QRコードがあり、これを読み込むと、このエリアにある有名な観光地やスポットが紹介される。これがこのミュージアムの面白さになっている。ミュージアムにはレンタサイクルとして電動付き自転車4台を配置してある。2時間無料。これで散策していただける。のみふるさとミュージアムを中心に和田山周辺には、国史跡に指定されている能美古墳群があり、災害疑似体験ができる防災センター、スパーク寺井、和田山ふるさと歴史の広場、ふるさと交流研修センターさらいがある。

観光大使は43名。松井秀喜さん、大相撲力士、ミュージシャン、ダンサー、アナウンサー、元宝塚ジェンヌの女優。たくさんのお有名の方に就任してもらっている。観光特使には、

関東・東海・関西の各能美市の会の会長、中日本高速道路の副社長、元国土交通省の事務次官を務めていた方、北陸電力の副社長、不妊治療の第一人者、日本銀行の福岡支店長という方々に就任してもらっている。

・企業誘致

ビックネームの企業をはじめ、たくさんの企業に進出してもらってる。進出後に増床した企業もある。10月1日の新聞に加賀東芝エレクトロニクスが1000億円の投資をすると書かれていた。産業団地「福島グランパーク」は23ヘクタール。この近くに手取川の新しい橋が架かり小松製作所の栗津工場と金沢港が直結する道ができ、交通アクセスがよくなる。ここにも数社の進出が決まっており、今交渉中のところもある。また新聞等で見ていただければと思う。能美根上スマートインターチェンジの近くにビジネスホテルがオープンする。

・今後の主な事業、行事

辰口図書館の2階にギャラリーを設置する。物見山総合体育館を冷暖房完備にする。これはスポーツをする方のためでもあるが、避難所としても活用するためである。クアハウスが建設されてから30年近く経ち、外観や設備も傷んでいる。今後、クアハウス九谷はエイムの経営で新しくなる。入浴施設として愛好者がたくさんいたが、お風呂も広く、スポーツもでき、壮年団の年代の方にも利用してほしい。最新のウォーキングマシン、運動器具を導入してもらうことになっているので、市外のジムなどに行っている方がいれば、ぜひこちらにも利用してもらいたい。

福島保育園を民営化する。市内には15の保育園があり、市民から子どもに幼児教育をうけさせたいと要望があった。ご意見を聞きながらほかのところも順次検討していく。

今年5月の連休の九谷茶碗まつりがコロナの影響で中止になり、Web茶碗まつりが開催される。また、北陸新幹線の県内全線開通に向けて小松市と能美市が連携し、KUTANismというイベントをやっている

・市民力・地域力、ふるさと愛の醸成

能美市の予算は5つの柱と2つの方針をもとに移住定住の促進につなげていくように編成している。これを進めていくには市民力、地域力がないと市全体が盛り上がっていかない。そして、市民の皆さんが能美市のことをよく知って、好きになって誇りに感じて、PRしていただくと能美市がさらに潤っていく。例えば、ある市にすんでいる皆さんの友達や同僚から能美市に引っ越したいと相談を受けたときに、能美市いいところだよ、一緒に住もう、動物園がある、フィッシュランドがある、子育て支援が充実している、広く強くPRしてもらいたい。能美市のことをさらに知って、自慢して、日本一住みやすいまちをみなさんと作っていきたい。ふるさと愛の醸成にご支援、ご協力をお願いする。

2) 意見交換

①市内人口分布の格差について

(参加者)

私の町では新しく家が建てられ人口は増えている。その反対に町から若い人が出ていき人口が減っている町もあると思う。町の人口に格差が出ていると感じる。市として、人口が減っている町に対してどのように考えているか。

(市長)

74の町会、町内会がある。人口が増えているところや減っているところがある。今年なぜ人口が減ったかという、ほかのところに引っ越していく人がいる、引っ越してくる人が少ないということ。みなさんから一緒に住もうと言ってもらえるようにしたい。みなさんもずっと能美市に住んでもらうようにしていきたい。

これは大きな町であろうと小さな町であろうと同じ。大きな町だと大きな町の特徴があるし、小さな町でも小さな町なりのいいところがたくさんある。魅力あるお店ができたり、夜空の星がきれいだったり、だからこの町にずっと住んでいたいという方がいる。その反面、買い物の不便さもある。高齢者や買い物弱者などの移送、買い物のお手伝いを町会・町内会で取り組んでいる。皆さんも住んでいる町がもっと住みやすくなるようにいろいろ頑張ってもらいたいし、我々もしっかりとサポートしていく。皆で能美市全体の人口を維持していきたいと考えている。ぜひご協力いただきたい。

②学校長寿命化計画について

(参加者)

個人的な要望だが、子どもが中学校に通うときに家から中学校まで遠いので、寺井中学校を建て直す際にはもう少し泉台町に寄せていただきたい。

(市長)

市内の小中学校は中学校3つ、小学校8つ、全部で11校ある。今、学校施設の長寿命化計画を作っている。学校施設が古くなっている、それから将来的に子どもが減る可能性がある。将来的にどこの学校から投資していこう、どの場所に建てようということも含めて考えていかなければならないと思っている。貴重なご意見の1つとして、寺井中学校の将来について考えていきたい。

③今後の政策について

(参加者)

今後の政策について、どう考えているか。

(市長)

将来的になにをやりたいか少し説明する。まず、デジタル化の推進。デジタル技術を導入しもっと便利に、市民の皆様の安全安心を確保していきたい。危機管理の分野では、例えば、市内で大雨が降り、避難勧告を発令するとなると、皆さんに伝える手段は、今は防災行政無線がある。各ご家庭に1台、だいたい茶の間においてあるかと思う。寝室、台所では聞き逃す、外出していると聞けない、たくさん情報を流すと全部聴き取れなかったり、間違っ聞いてしまうこともある。そこで、SNS やメールで配信できるようなシステムを構築しようとして取り掛かっている。また、防災行政無線が一部の地域で聞こえないということも聞いている。そのあたりも解決するために取り組んでいる。

そして、産業の分野では、省力化省人化。また、コロナ対策として web で市内のお店を支援するという取り組みをしている。

ドローンを購入し、鳥獣被害対策、大雪の時にはどこにどれだけ積もっているか、大雨の時は川の水位の状況などの把握に活用していく。

いろいろデジタル化を進めていきたいということを考えている。

(参加者)

ドローンの撮影範囲は？

(市長)

市役所から県庁まで撮影できた。移動は半径 8 km の範囲で、それ以上は操作できないようになっている。

④ 体育施設の利用予約について

(参加者)

栗生運動公園を使いたいと思い、寺井体育館に予約しに行ったが、団体でほとんど予約されていて、キャンセルも殆どない状態。一般の方が使えない感じを受けるが、その辺はどう考えているか。

(市長)

一般として何人で利用する予定か？

(参加者)

野球などで利用したり、壮年団メンバーでソフトボールの練習をしたい。

(市長)

そうであれば予約できると思う。

(参加者)

壮年団では特に年間計画はしていないので、今週とか来週の予約をしたい。

(市長)

そうなる、既に予約が入っていて割り込みできないということではないか。

(参加者)

3か月前に予約していればいけるが、その後はキャンセル待ちでないと予約できない。
一般の人は使いづらい。

(市長)

年間計画を作って使いたいという方がいる。その立場から考えると致し方ないと思う。
状況を調べて、個別に回答させてもらう。

以上